

## 一般廃棄物（ごみ処理）基本計画の改定について

## 1. 環境関連の計画

計画名	年度											根拠法令等
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
第7次総合計画	[計画期間: H28~H38]											多治見市市制基本条例
環境基本計画	[計画期間: H28~H38]											環境基本法 多治見市環境基本条例
一般廃棄物基本計画	[計画期間: H28~H38]											廃棄物の処理及び清掃に関する法律
一般廃棄物実施計画	[計画期間: H28~H38]											廃棄物の処理及び清掃に関する法律
分別収集計画	[計画期間: H28~H38]											容器包装リサイクル法
まち美化計画	[計画期間: H28~H38]											多治見市美化条例
循環型社会システム構想	構想期間(平成11年度~27年度)※期間終了											循環基本法
※ [青い矢印]	…計画期間											
※ [黄色い菱形]	…見直し年度											

## 2. 一般廃棄物基本計画改定

(実績値は平成 26 年度一般廃棄物処理事業実態調査結果、多治見市廃棄物概要)

## (1) 廃棄物処理法基本方針等における目標・指標等

①一般廃棄物の減量化の目標量（平成 32 年度）⇒1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量 500 g

➤ 多治見市の 1 人 1 日当たりのごみ排出量 958 g、家庭ごみのみ：464 g（平成 26 年度実績）

（参考）岐阜県内の市町村平均の排出量 911 g、全国平均 947 g

②食品廃棄物（食品ロス）、家電リサイクル法及び小型家電リサイクル法に係る目標

⇒食品廃棄物（食品ロス）の割合調査、小型家電リサイクル法に基づく引取り及び再生

➤ 多治見市の食品廃棄物

・ごみ総排出量 38,599 t/年

・可燃ごみ（家庭系及び事業系）の組成：厨芥類 17.3%≒6,678 t/年

③廃棄物処理施設整備計画における重点目標（平成 29 年度）⇒ごみのリサイクル率 26%

➤ 多治見市の一般廃棄物のリサイクル率 24.5%、家庭ごみのみ：27%

## 《課題点》

- ◆ ごみ（家庭系・事業系）、資源の排出量等の実態把握
- ◆ 事業系一般廃棄物のごみ減量化、分別の徹底

## (2) 関連計画等との整合性

## ①循環型社会システム構想

平成 27 年度に終了年度を迎えた構想について、基本理念・原則は変更しない。現状に即した目標を再設定し、処理計画に明記する。

➤ 基本理念は変更せず、究極の目標である「脱焼却」「脱埋立」を常に念頭に置き継続的に取り組むこととする。

➤ 基本原則（1）ごみ減量、リサイクルの優先順位、（2）ごみ減量の段階は変更しない。（3）つくりあげ維持する手法も継続し、④品目ごとの年次目標について、新たに具体的な品目と年度を設定する。

②環境基本計画…第 4 部 (基本計画) 第 4 章 (物質の循環の保全)

別紙資料参照

- 第 1 節 (ごみの減量化)
  - ・環境指針と目標…1 人 1 日当たりのごみ量を 440 g にします。
  - ・基本的施策…生ごみ減量の取り組み促進、ごみ処理手数料の定期的な検討
- 第 2 節 (リユース、リサイクルの促進)
  - ・環境指針と目標…資源化率を 40% にします。
  - ・基本的施策…家庭ごみの分別啓発の強化、リサイクル製品の利用促進



- 《改正後計画 (案)》
- 第 1 節 (ごみの減量化)
    - ・環境指針と目標…1 人 1 日当たりの**家庭**ごみ量を 440 g にします。  
**事業系ごみを含めた一般廃棄物のごみ量を 900 g (人・日) にします。**
    - ・基本的施策…生ごみ減量の取り組み促進、ごみ処理手数料の定期的な検討
  - 第 2 節 (リユース、リサイクルの促進)
    - ・環境指針と目標…**家庭ごみの**資源化率を 40% にします。
    - ・基本的施策…家庭ごみの分別啓発の強化、リサイクル製品の利用促進

③資源化率の算出方法

**家庭ごみ資源化率の公式**

○資源集団回収 ○破碎選別資源 ○分別収集資源 ○溶融スラグ・メタル ○生ごみ自家処理	÷	○家庭ごみの収集量 ○ボックス投入量 ○生ごみ自家処理	
資源化の合計		処理量の合計	

平成 27 年度 28.43 %

○資源集団回収量	2,594 トン		○家庭ごみ量	26,797 トン
○分別収集資源	2,505 トン		○ボックス投入量	1,613 トン
○破碎選別資源	139 トン		○生ごみ自家処理	700 トン
○溶融スラグ・メタル	2,338 トン	÷	○処理量の合計	29,110 トン
○生ごみ自家処理	700 トン			
●資源化の合計	8,276 トン			

廃棄物ではないため算定は適切でない

※多治見市の資源化 (リサイクル) 指標 ⇒ 資源化率

リサイクル率 = 
$$\frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量}}$$

- 《課題点》
- ◆ 資源化率の公式見直し
  - ◆ 資源化 (リサイクル) の実績を示す指標が多様